

令和8年度長洲町

まちづくりの

スタートダッシュ

令和8年度のまちづくりがスタート  
しました。

誰もが安心して暮らし、誇りを持て  
る「未来輝く長洲町」の実現に向け、  
ふるさと長洲町への揺るぎない情熱  
と使命感を胸に、まちづくりを行う  
田成町政。

生涯学習や地域スポーツの振興にも  
力を注ぎ、スポーツ団体などと連携  
し、「スポーツコミッション」の設立  
に向けた準備を進め、観光資源とス  
ポーツを組み合わせた地域のにぎわ  
い創出に取り組みます。

※生成AIで作成した画像を使用しています。

# 長洲町×日本体育大学

自治体連携協定を締結し、  
スポーツに関するさまざまな取り組みの強化へ

3月23日、長洲町と学校法人日本体育大学（松浪健四郎理事長）は、それぞれが持つ教育資源や人的資源を活用して「体育・スポーツ・健康づくり」の各分野における取り組みを推進し、「スポーツと文化による明るく楽しいまちづくり」を実現するため、自治体連携協定を締結しました。



▲協定を交わす田成町長と学校法人日本体育大学  
松浪健四郎理事長（右）

## 今後の展望について

学校法人日本体育大学は、講演や講習会への教職員や学生の派遣をはじめ、合宿や修学旅行の受け入れ、部活動の地域移行を踏まえた指導者研修などに取り組まれています。

町では、今後、オリンピック選手や教授、学生たちによる講演会や競技指導のほか、地域部活動の指導者に対する養成講座など、さまざまな取り組みを実施することで、子どもたちが夢と希望を持ち、健康で生き生きと過ごすことができるまちづくりに取り組んでいきます。

## <協定項目>

- (1) 相互の学校・施設における教育・研究および課外活動に関すること
- (2) 相互の教職員の交流または指導員の派遣に関すること
- (3) 相互の学生・生徒・児童などの交流に関すること
- (4) 相互の行事・イベントなどに関すること
- (5) 相互の施設利用に関すること

# 長洲町のにぎわい創出

まちのにぎわいチャレンジ事業補助金を交付  
地域経済の活性化へ

4月から、地域経済の活性化を図り、町のにぎわいを創出するため、「まちのにぎわいチャレンジ事業補助金」の制度を開始しました。

これは、町内で企画・実施する「まちを元気にする活動」を応援し、共に町の地域活性化に取り組むための新しい補助金制度です。

多様な団体が主体となり、魅力あるまちづくりを進めていくため、2種類の補助金制度があります。

## 通常型

地域の活性化やコミュニティづくりに繋がる公益的な事業を支援

- ▼補助上限額…最大50万円
- ▼補助率…対象経費の8割
- ▼申請期限…5月11日①

## マルシエ

手作り品や特産品の販売など、マルシエの開催を支援

- ▼補助上限額…最大10万円
- ▼補助率…対象経費の10割

※通常型、マルシエともに、国や県各種団体などからの補助を受けている事業は対象となりません。

「こんなイベントあったらいいな」「地域の課題を解決したい」「そんなあなたの「やってみたい!」という想いを、仲間と一緒に実現してみませんか。

自由な発想やアイデアをお待ちしています。



① まちづくり課 地域振興係  
☎ (78) 32339

# 長洲町×肥後銀行

## 包括連携協定を締結し、町の施策を広くPR 移住定住施策の更なる発展へ

3月26日、長洲町と株式会社肥

後銀行（笠原慶久代表取締役頭取）は、同行が持つ金融機関ならではのネットワークやノウハウ、資源を活用し、本町の移住定住促進策に関する情報を提供することで、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、包括連携協定を締結しました。

### 今後の展望について

就職などを機に長洲町から離れる人が増えていることから、町の移住定住を促進するため、令和7年度より行ってきた若者定住就職奨励金に加え、本年度からは新たに若者奨学金返済サポート事業、子育て・新婚世帯住宅ローン利子補給金などの事業を実施します。

連携の内容としては、同行の持つネットワークを活かし、町の施策を広くPRすることにより、移住定住を更に発展させます。

# 長洲町の定住支援

## 住む、働く、育てる

## 長洲町があなたの新生活を全力サポート！

町では、定住人口の増加と活力あるまちづくりを目指し、皆さんのライフステージに合わせた多様な支援制度をご用意しています。

### マイホームの夢、応援します

子育て中の家庭や、新婚の夫婦が町内で住宅を取得（新築・中古）またはリフォームした際の住宅ローン利子の一部を補給し、経済的負担を軽減します。

子育て・新婚世帯住宅ローン利子補給金

▼補給期間…最長3年間

▼補給額…年度あたり最大20万円

### まちの未来をつくる宅地開発を応援

良好な宅地の供給を促進し、定住人口の増加につなげるため、町内で宅地開発を行う民間事業者と、事業のため土地を提供する土地所有者の双方を支援します。

### ①民間宅地開発事業補助金

▼補助金額…1事業につき300万円

### ②土地提供奨励金

▼奨励金額…土地売買代金の5%  
(上限50万円)

### 若者の「働く」と新生活をサポート

町に定住して働く、未来を担う若者たちの経済的な負担を軽減し、町での活躍を応援します。

### 若者定住就職奨励金

町に定住し、正規雇用で就職した若者の新生活スタートを応援します。

▼奨励金額 10万円（1人1回限り）

若者奨学金返済サポート事業補助金  
町に定住して働く若者の奨学金返済をサポートします。

▼補助金額…上限額12万円

※1人につき3回まで（最大36万円）

マイホームの取得や宅地開発、若者の就職や奨学金の返済まで、あなたの「長洲町で暮らしたい」という想いを力強く後押しします。



▲協定を交わす田成町長と株式会社肥後銀行マーケティング部 岩下西紀部長（右）

### <協定項目>

- (1) 移住定住の促進に関すること
- (2) 持続可能なまちづくりに関すること
- (3) 豊かな自然環境を活かした地域活性化に関すること
- (4) 企業誘致に関すること
- (5) その他地域社会の活性化および町民サービスの向上に関すること



制度の内容については  
おしらせ (p19) でも紹介  
しております。

# 通信制高校としての再生を

## 旧長洲中学校跡地の新たな活用に向けて 協議を開始しました



**旧**長洲中学校跡地について、町では、国の支援事業を活用しながら、有効な活用方法の可能性を模索してきました。

その結果、施設全体の有効活用に向けた具体的な方法が示されたことから、事業者の公募を実施し、内容を確認したなかで、今後協議を進める事業者として学校法人立志舎を選定しました。

### 跡地活用の検討内容について

- 主な内容としては、
- ・通信制高校の設置・運営
  - ・地域と連携した体験学習や交流の実施
  - ・体育館やグラウンドの地域利用の継続
  - ・避難所機能の維持
- など、教育機能と地域機能の両立を図る内容となっています。

### 将来の展望

この取り組みにより、旧長洲中学校跡地は新たな教育拠点として再生し、町内外から多くの若者が集い、学びを通じて地域と関わる交流の場となることが期待されます。



▲住民説明会の様子

また、地域との連携による人材育成やにぎわいの創出など、まちの活力向上にもつながることが見込まれます。

町としては、避難所としての機能を維持しつつ、体育館やグラウンドの地域利用を継続するとともに、新たな財政負担を伴わないことを基本として取り組んでいきます。

今後は、事業内容や条件について事業者と協議を進め、一定の方向性がまとまった段階で町議会へ報告し、その後、協定の締結に向けた手続きを進めていく予定です。

### 新たなスタートを切った長洲町。

2年目の町政運営を行っている田成町長は、施政方針の中でも、「子育てしやすいまち」「地域経済の活性化」「スポーツ・文化によるまちづくり」の実現を最重要施策と位置づけて、一つひとつ着実に形にしていきたいと思います。」と述べました。

その足掛かりとして、日本体育大学との自治体連携協定の締結や、肥後銀行との包括連携協定を締結。にぎわい創出のための『まちのにぎわいチャレンジ事業補助金』や、定住促進のための各種支援制度の新設、そして旧長洲中学校跡地の新たな活用に向けた協議など、「未来輝く長洲町」の実現に向けてのさまざまな取り組みをスタートさせていきます。

今後も、長洲町ならではの魅力を活かし、地域経済の活性化と交流人口の拡大に向けた取り組みを、さらに力強く展開していきます。

行政だけでなく、企業や地域の皆さんが協力し、魅力あるまちづくりを共に進めていきたいと思います。